

- ① A～Fに適切な語句を①～④から1つずつ選びなさい。
- 蛍光灯は白熱電球に比べると(A)ので経済性に優れている。種類も豊富で、光源の色みである(B)や、演色性のよしあしを評価する(C)によって以下のように分類されている。
- (B)は色温度ごとに(D)・(E)・白色蛍光灯・(F)などに分類され、(C)は演色評価数の最低値によって分類されている。

蛍光灯の種類	色温度	
(D)	↑クールな光 約6500K	昼の光のような、やや青みがかったクールな蛍光灯。
(E)	約5000K	クールでも温かみもない、くせないナチュラルな蛍光灯。
白色蛍光灯	約4000K	やや黄みを帯びた柔らかい雰囲気をもつ蛍光灯。
(F)	↓温かい光 約3000K	白熱電球と似たような温かみのある色みの蛍光灯。

A①熱効率がよく、寿命が長い		②熱効率が悪く、寿命は短い	
③演色性にすぐれ、照度が高い		④調光が可能な	
B①光色	②演色性	③照度	④光束
C①光色	②演色性	③照度	④光束
D①昼白色蛍光灯	②昼光色蛍光灯	③温白色蛍光灯	④電球色蛍光灯
E①昼白色蛍光灯	②昼光色蛍光灯	③温白色蛍光灯	④電球色蛍光灯
F①昼白色蛍光灯	②昼光色蛍光灯	③温白色蛍光灯	④電球色蛍光灯

- ② 以下のA～Cは蛍光灯を演色性によって分類したときの説明である。該当する名称を①～③からそれぞれ選びなさい。
- A 演色性は劣るが、安価な蛍光灯である。
- B 美術館や博物館などの照明に用いられる蛍光灯。色を正しく測るための色評価用にも用いられている。
- C 色光の三原色に相当する赤・緑・青の波長付近を強く発光させることで、演色性を高めた蛍光灯。現在、蛍光灯の主流になっている。

①高演色形蛍光灯
②3波長域発光形蛍光灯
③普通形蛍光灯

- ③ 下記の①～④の文章で正しい文に○を、誤りのある文に×をしなさい。
- ①マンセルの色相表示では、「0」の数字がつく色相が代表色相である。
- ②マンセル色相の「5B」はPCCSの「緑みの青」に相当する。
- ③マンセル色相の「10R」はPCCSの「赤みの橙」に相当する。
- ④マンセル色相は色名と記号が合っていないことがある。PCCSの青（標準的な青）はマンセルの記号ではPB（青紫）で表される。

- ④ 下記のA～Eに適切な語句を入れ文章を完成させなさい。
- マンセル表色系の色相のことを(A)という。(B)の5つの色相を基本色相とし、それをアルファベットの(C)で表す。この5色相の間は、たとえばYとGの間を(D)で表すなどして全部で10の色相に分割している。この10種類のアルファベットの前に(E)の数値をつけて、さらに細かく色相を分割している。

A ①ヒュー (Hue)	②バリュー(Value)	③クロマ(Chroma)
B ①赤・橙・黄・緑・青	②赤・黄・緑・青・藍	③赤・黄・緑・青・紫
C ①R・O・G・B・P	②R・Y・G・B・P	③R・Y・G・B・V
D ①YG	②GY	③BG
E ①0～24	②1～10	③1～100

- ⑤ 下記の①～③の文章で適切な文に○、誤りのある文に×をしなさい。
- ①マンセル表色系の5Rと5BGは互いに補色の関係になる。
- ②Rの前の数値が大きいくほど、赤紫に近い、紫み寄りの赤となる。
- ③Rの前の数値が小さいほど、黄赤に近い、黄み寄りの赤となる。

- ⑥ A～Cにあてはまる色をそれぞれ①～④から1つずつ選びなさい。
- A マンセル色相の5R
- ①  ②  ③  ④ 
- B マンセル色相の5B
- ①  ②  ③  ④ 
- C マンセル色相の5Gの補色(正反対の色)にあたる色
- ①  ②  ③  ④ 

- ⑦ 下記のA～Gに適切な語句を入れ文章を完成させなさい。
- マンセル表色系の明度のことを(A)といい数値で表す。100%光を反射する理想的な白は明度が(B)、100%光を吸収する理想的な黒は明度が(C)と規定し、この間を(D)が均等に变化して見えるように9色の無彩色を挿入して、それぞれの明度を1,2,3……9とした。数字の大きい色ほど(E)色である。色票で再現できる現実の白の明度はせいぜい(F)、現実の黒の明度は(G)である。

①ヒュー (Hue)	②バリュー(Value)	③クロマ(Chroma)
④10	⑤9.5	⑥1.0
⑦0	⑧明るい	⑨暗い
⑩にぶい	⑪見た目の明るさ	⑫反射率

- ⑧ 次のA～Fにあてはまる語句をそれぞれの語群から1つずつ選びなさい。
- マンセル表色系の彩度のことを(A)といい数値で表す。数値が大きいくほど(B)色である。彩度を持たない、つまり彩度段階が0の位置が(C)にあたり、(C)からどのくらい離れているかが(D)段階となる。マンセル表色系の(D)段階の特徴は、(E)によって最高彩度が異なる点である。たとえば赤や黄赤は、青緑や青に比べて最高彩度の段階は(F)。

A ①ヒュー (Hue)	②バリュー(Value)	③クロマ(Chroma)
B ①明るい	②さえた	③くすんだ
C ①最高彩度の位置	②無彩色の軸	③純色
D ①色相	②明度	③彩度
E ①色相	②明度	③彩度
F ①少ない	②多い	③同じである

- 9 下記のA～Fに入る適切な語句を語群から選び、文章を完成させなさい。
- マンセル表色系では、有彩色は色の三属性を連記して色を正確に表示する。たとえば「5R 4/14」と表記した場合(A)は「5R」、(B)は「4」、(C)は「14」なので(D)色であることがわかる。
- 無彩色は「N1」のように表示する。Nは(E)の意味を持ち、「1」は(B)段階を表しているので、「N1」は(F)だとわかる。

①色相	②明度	③彩度	④トーン
⑤彩度の高い赤	⑥淡い赤	⑦彩度の高い緑	⑧くすんだ緑
⑨白	⑩黒	⑪ニュートラル	⑫準無彩色

- 10 下記の①～⑤から適切な文を2つ選びなさい。
- ①5R 4/14は 10R 4.5/12よりも黄みを帯びた赤である。
- ②5R 4/14は 5R 4/2よりもくすんだ色である。
- ③「5/」と表記した色は彩度が5という意味である。
- ④わずかに色みを感じるオフグレイのことを準無彩色という。
- ⑤N5/(B0.3)と表記した色はわずかに青みを含んだ色である。

- 11 A～Dの色刷りに最も近い「HV/C」表示を①～③から1つ選びなさい。

A 

① 10G 5/8
② 10G 8/2
③ 10B 6/9

C 

① N5.0
② N2.5
③ N8.5

B 

① 10R5.0/15
② 4R 4.5/2
③ 1R5.5/13

D 

① N7/(R0.3)
② 4R7/5
③ 4R3/5

- 12 次のA～Eに語群から適切な語句を入れて文章を完成させなさい。
- マンセル表色系の色立体は、白が頂点、黒が最下部に位置する(A)の軸を中心にして、360°に等色相面が(B)の順に並んでいる。
- 上から見ると(B)が環になって見えている。またマンセル表色系では(B)によって最高彩度の色の(C)段階や(D)段階が異なっているため等色相面の形もさまざまである。そのため、色立体は(E)な形になっている。

①色相	②明度	③彩度
④無彩色	⑤均整がとれた単純	⑥非対称で複雑

- 13 次の①～④について正しい文に○を、誤った文に×をつけなさい。
- ①色立体を垂直(縦)に切断すると、等明度面が現れる。
- ②色立体を水平(横)に切断すると、等色相面が現れる。
- ③マンセル表色系の色票には20色相や40色相のものがある。JIS標準色票はマンセルの40色相で表示されている。
- ④マンセルがつくった色立体は「カラーツリー(色の樹)」と呼ばれた。

- 14 次のA～Dに語群から適切な語句を入れて文章を完成させなさい。
- マンセル表色系は「色相」「明度」「彩度」の3つの属性について見た目が均等になるように尺度化している。このような表色系を(A)の表色系という。画家のマンセルが色を(B)するために考えたものを、後に(C)が色の差が均等になるように実験を行い、見直したものである。これをマンセル自身がつくったものと区別して修正マンセル表色系という。日本の(D)でも採用されている。

①混色系	②顕色系 ^{けんしきき}	③アメリカ光学会OSA
④日本産業規格JIS	⑤系統的に整理	⑥混色

- 15 下記のA、Bに適切な語句を入れて文章を完成させなさい。
- マンセル表色系に従ってつくられた色票集に「(A)・ブック・オブ・カラー」の1600色があり、光沢版と無光沢版が発行されている。また、「(B)標準色票」には2163色が揃っている。

- 16 A～Fに語群の①～⑫から適切な語句を選びなさい。
- 色を正確に伝えたり記録するには(A)で色を表す。特に色彩を現場で扱う人は、マンセル表色系やPCCSで色を表すときの(A)の約束事を知っておく必要がある。一方、日常生活では(A)で色を伝えるのは難しく、(A)より(B)を多く知っておくとよい。なかでも系統的に分けた(B)を(C)といい、イメージを伝える色名を(D)という。たとえば  は(C)では(E)となり、(D)では(F)と呼ばれる。

①色の名前	②記号や数値	③系統色名	④慣用色名
⑤基本色名	⑥バーミリオン	⑦ターコイズブルー	⑧カーキ
⑨ビリジアン	⑩明るい紫みの赤	⑪明るい緑みの青	⑫青みの灰色

- 17 JISで規定されているA～Dの色名に関わりのあるものを、①～④から1つずつ、(a)～(d)から1つずつ選びなさい。

A基本色名 B系統色名 C慣用色名 D色の三属性の表示

①うすい赤	②赤	③4R6/14	④紅色
-------	----	---------	-----

- (a)色のイメージを連想しやすい色名だが、正確な色の指示には不向き。
- (b)もっとも頻繁に使われ、誰でも知っている色名。
- (c)色を整理、分類したり、系統だてて考えるのに適した色名。
- (d)産業規格品を正確に表示する色名。色の連想には専門知識が必要。

- 18 次のA～Dに適切な語句を入れ、文章を完成させなさい。
- JISには「物体色の色名」と「(A)の色名」の色名規格がある。物体色の色名の規格には(B)と(C)があり、(B)は(D)に修飾語をつけた色名で、色の指示や色の整理分類に適している。

- 19 A～Fに語群から適切な語句を1つずつ選びなさい。
- 「常盤色^{とぎわいろ}」は(A)と言われる色名で、(B)と表現することもできる。(B)は(C)である。このうち「緑」は(D)で、これに(E)のような明度および彩度に関する修飾語や、(F)のような色相に関する修飾語をつけて、有彩色の(C)を表すことができる。

A①基本色名	②慣用色名	③光源色の色名	④系統色名
B①こい緑	②あざやかな緑	③くすんだ青緑	④暗い緑みの青
C①基本色名	②慣用色名	③系統色名	④固有色名
D①基本色名	②慣用色名	③伝統色名	④流行色名
E①うすい、こい	②緑みの、青みの	③あさい、ふかい	④白みの
F①黄赤みの	②灰みの	③赤みの	④にぶい